

森ビルの都市づくりの原点。革新と挑戦を続け、時代を牽引する価値を生み出し、育み続ける都市

アークヒルズ 開業 30 周年

～ 未来のイノベーション拠点となる 3 つの新たな施設が誕生 ～

森ビル株式会社が主導し、民間による日本初の大規模市街地再開発事業として1986年に誕生したアークヒルズ(東京都港区)は、2016年3月31日に開業30周年を迎えます。

「職住近接」「都市と自然との共生」「文化発信」など、当社の都市づくりの理念を「ヴァーティカル・ガーデンシティ(立体緑園都市)」によって具現化したアークヒルズは、まさに“ヒルズ”の原点です。その都市づくりは、後に誕生した六本木ヒルズ、表参道ヒルズ、上海環球金融中心、虎ノ門ヒルズなど、当社の大規模複合再開発に受け継がれています。

アークヒルズは開業以来30年にわたり、ビジネス、住居、文化、緑、コミュニティなど多様な側面において、時代を牽引する新たな価値を生み出し続けてきました。また、アークヒルズ開業を機に、アークヒルズを含む周辺エリアは30年で大きく変貌。交通インフラの整備や、当社を含む多様な事業者による大規模開発が推進され、現在も国際新都心の形成に向けて、複数のプロジェクトが進行中です。

当社は今後も、常にその時代を牽引してきたアークヒルズを舞台に、東京の磁力向上に向け、次世代への挑戦を続けてまいります。



<TOPICS>

1. アークヒルズ 30 年の歩み …2

① 森ビル 都市開発の原点

- ・ 多彩な都市機能をもつ一つの街に融合させたコンパクトシティとして、新しい都市モデルを形成
- ・ 世の中に大きなインパクトを与えた国際化・情報化時代に対応する24時間型複合都市の誕生

② 都市づくりにおける様々な革新と挑戦

- ・ 東京を代表する国際金融センターから、各時代を代表する企業の拠点、そしてイノベーションの拠点へ
- ・ 職住近接のライフスタイルを提案した国際水準のレジデンス。外国人向けの賃貸マンションブームの先駆け
- ・ 都市緑化・屋上緑化によって「都市と自然との共生」を実現。30年で緑被面積が約2倍に成長
- ・ 東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」を核に育まれた都市文化。エリアの文化的な磁力へ
- ・ 再開発によるアークヒルズエリアの都市再生。タウンマネジメントからエリアマネジメントへ

2. 東京の磁力向上に向けた次世代への挑戦 …3

【新施設】 未来のイノベーション拠点となる3つの新しい施設を開設

- ① 「TechShop Tokyo」 クリエイターやデザイナーがイノベーションに繋がるプロトタイピングを行う拠点
- ② 「KaleidoWorks」 ベンチャーキャピタリストを中心としたイノベーター達が集うビジネスクリエーション拠点
- ③ 「WIRED Lab.」 テクノロジーとカルチャーが融合した「新しい都市生活」をめぐるリサーチ・教育・実験・実行の場

3. アークヒルズ開業30周年の展開 …4-6

- ① 施設・店舗リニューアル
- ② 新たなコミュニティづくり「アークヒルズ キッズコミュニティBASE」スタート
- ③ 2016年度上半期 開催予定 イベント情報

1. アークヒルズ 30 年の歩み

①森ビル 都市づくりの原点

アークヒルズは、「職住近接」「都市と自然との共生」「文化発信」など、森ビルの都市づくりの理念を「ヴァーティカル・ガーデンシティ(立体緑園都市)」によって具現化した最初のプロジェクトです。オフィス、住宅、コンサートホール、ホテル、放送局、オープンスペース、庭園など、多彩な都市機能を一つの街に融合させたコンパクトシティとして、新しい都市モデルを形成。その後の日本における都市再開発のモデルケースとなり、大きなインパクトを与えました。六本木ヒルズ、上海環球金融中心(中国・上海)、表参道ヒルズ、虎ノ門ヒルズなど、当社を代表する大規模複合再開発(通称:ヒルズシリーズ)は、アークヒルズが原点です。

1986年の開業以来、アークヒルズ周辺エリアでは地下鉄開通などの交通インフラ整備や、当社を含む多様な事業者によって大規模開発が推進され、現在も国際新都心の形成に向けて、複数のプロジェクトが進行中です。このエリアは、30年で大きく変化を遂げたエリアのひとつと言えるでしょう。

②都市づくりにおける様々な革新と挑戦

➤ ビジネスシティとして創出した新たな価値:30年間で東京を代表するビジネスエリアに成長

大規模なフロアプレート(約3,000㎡、約900坪)、高い耐震性やセキュリティ、情報化時代に対応した設備など、日本のハイグレードオフィスの先駆けとなったアーク森ビル(オフィス棟)は、竣工当時、日本進出をし始めた外資系金融機関が数多く入居し、東京を代表する国際金融センターの顔となりました。その後もその時代を代表する企業や時代を切り拓く企業が拠点を構え、近年は成長著しいベンチャー企業およびそれらを育てる(インキュベーション)機能を持つ企業が集積しつつあります(次頁に関連情報)。アークヒルズを含む周辺エリア一帯の大規模オフィスビルのストックは、この30年間で約2倍^{*}に増加。アークヒルズ開業を機に、東京を代表するビジネスエリアのひとつへと成長しました。^{*}当社調べ。大街区エリアの大規模オフィスビルストックは1986年614,300㎡に対し、2015年1,248,200㎡。

➤ 職住近接のライフスタイルを提案した国際水準のレジデンス

「アークタワーズ」(住宅棟)は、ハイグレードな住環境、サービスアパートメント(家具付き賃貸住宅)、24時間バイリンガル対応のサービスを提供するなど、職住近接のライフスタイルを世の中に提案。国際水準の賃貸マンションブームの先駆けとなりました。以降、アークヒルズを含む周辺エリアはハイグレード住宅供給エリアに成長、当時約600戸程度だったストックが、2015年度調査では約5倍の3,000戸まで拡大^{*}しています。^{*}当社調べ

➤ 都市緑化・屋上緑化によって「都市と自然との共生」を実現

屋上緑化の考え方自体が一般的ではなく、法整備もなかった1986年から「都市と自然との共生」を掲げ、敷地一帯を積極的に緑化。開発当時は1.15ha(緑比率23.3%)だった緑被面積が、現在では約2倍となる2.16ha(緑比率43.53%)^{*}へと拡大。現在も、サントリーホールの屋上をはじめ四季を感じることのできる4つの庭園や敷地の外周に配した約150本の桜並木など、「都市の生態系」を育てています。^{*}2014年調査

➤ 「サントリーホール」を核に育まれた都市の文化。エリアの重要な磁力へ

アークヒルズの文化・芸術の象徴として「世界一美しい響き」を基本コンセプトに、東京初のコンサート専用ホールとして誕生したサントリーホール。日本を代表するコンサートホールとして国内外から高い評価を得るだけでなく、コンサートを楽しむ文化そのものを根づかせました。また開業25周年(2011年)を機に、サントリーホールと森ビルが主催となり「アークヒルズ音楽週間」をスタート。今では周辺エリアの美術館やホテル、大使館、オフィスビルなどと連携した街の音楽祭に成長しました。サントリーホールは、このエリアを代表する文化的な磁力となっています。

➤ タウンマネジメントからエリアマネジメントへ

地元住民や店舗・企業と形成する「自治会」、社会人のための教育機関「アカデミーヒルズ」、豊かな緑を舞台に活動する「ヒルズガーデニングクラブ」など、アークヒルズには国際的で多様なコミュニティが数多く生まれてきました。2009年に開始した「ヒルズマルシェ」も、地域住民と生産者を繋ぐ新たな交流機会の場として定着しています。

そして本年4月、周辺エリアの住宅の供給に伴い近年増加傾向にあるファミリー層をターゲットに新たなコミュニティ活動、「アークヒルズ キッズコミュニティBASE」^{*}をスタートします。^{*}詳細は5頁を参照ください。

開業から30年、周辺には「アークヒルズ」を冠したプロジェクトが複数誕生、アークヒルズが育ててきた歴史や資産を継承しながら都市再生に取り組んでまいりました。同時に、当社が培ってきたタウンマネジメントのノウハウはエリアマネジメントへ進化、周辺事業者とも連携しながら、国際的かつ総合的な街づくりを推進しています。今後も引き続き、アークヒルズ、六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、それぞれのエリアがもつ地域特性を活かしながら、都市を育み、繋がることで、東京の国際競争力を牽引する国際新都心を形成してまいります。

2. 東京の磁力向上に向けた次世代への挑戦: 未来のイノベーション拠点となる3つの新たな施設を開設

当社では、東京の磁力を高める取り組みとして、様々な志を持つ企業や人と協働しながら都市を育てています。アークヒルズでは、これまでも社会人向けの教育機関「アカデミーヒルズ[※]」や知の発信拠点「アークヒルズライブラリー」、またエグゼクティブパーソンたちの交流の場「アークヒルズクラブ」など多様なコミュニティを醸成してきました。[※]2003年六本木ヒルズに移転

そして今春、未来のイノベーションを生み出す原動力となる3つの施設をアークヒルズに開設します。世界で最も影響力のあるテクノロジーメディア「WIRED」が、日本初となる常設のリサーチ・実験の場「WIRED Lab.」を開設。本格的な工作機器によりアイデアをカタチにできる会員制工房「TechShop」がアジア初進出。さらに今の日本を代表する独立系ベンチャーキャピタルが集うワークプレイス「KaleidoWorks」が誕生。——これら各施設に集まる、発想や志を持った人々が、アークヒルズという街を舞台に互いに交流することにより、アイデアがビジネスになるサイクル(=エコシステム)が形成されることを目指します。

① 「TechShop Tokyo」: クリエイターやデザイナーがイノベーションに繋がるプロトタイピングを行う拠点

『BUILD YOUR DREAMS HERE』をコンセプトに掲げ、誰もが自由にアイデアをカタチにできる今まで日本になかったモノづくり施設「TechShop」[※]のアジア第一号店が開設します。本格的な工作機器により、アイデアをカタチにすること(プロトタイプ)が容易になり、個人やベンチャーと大企業のコラボレーションなど、企業、起業家、クリエイター、学生、投資家、地域コミュニティが集い、オープンなイノベーションへの取り組みが日々実践される場となります。

<名称> TechShop Tokyo(テックショップ トウキョウ) <場所> アーク森ビル 3F
 <開業日> 2016年4月1日(金) [※]2/18(木)プレオープン <営業時間> 10:00~23:00
 <問合せ> TEL 03-5797-7110 <http://www.techshop.jp/>

[※]TechShop は 2006 年創業の米国におけるメイカームーブメントの潮流を創った会員制オープンアクセス型 DIY 工房。現在、北米を中心に 10 店舗を展開。本施設は富士通株式会社と Techshop, Inc. が共同して設立した『テックショップジャパン』が開設した施設となります。

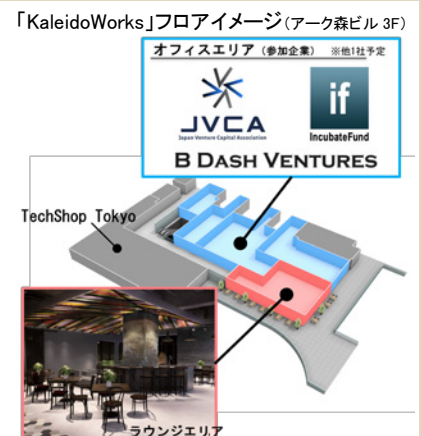


② 「KaleidoWorks」: ベンチャーキャピタリストを中心としたイノベーター達が集うビジネスクリエーション拠点

「起業」を一過性のブームには留めず、更なる発展と持続的なものにするための新たなビジネスクリエーションの場「KaleidoWorks」[※]。現在日本を代表する独立系ベンチャーキャピタル(投資家)が入居するオフィスエリアと、交流の場となるラウンジエリア「Crossover Lounge(クロスオーバーラウンジ)」で構成。幅広い領域でイノベーションを目指す人たちが、互いの領域を超えて交流できる場を提供し、新しいビジネスの創造に向けて必要な人材やアイデアを生み出していくことを目指します。

<名称> KaleidoWorks(カレイドワークス) <場所> アーク森ビル 3F
 <参加企業(50音順)>
 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会、インキュベイトファンド、B Dash Ventures、他1社
 <デザイン監修> 株式会社リビタ
 <問合せ> TEL: 03-6406-6361 (森ビル様 オフィス事業部イノベティブビジネス担当)

[※]施設名の由来: 新しいモノ・コトが生み出される場にしたいという思いを含め、様々な色を持つモノが新しいコト(風景)を創り出す『Kaleidoscope(万華鏡)』と、新しいモノが生み出される場『Works(工場)』を融合させた造語。



③ 「WIRED Lab.」: テクノロジーとカルチャーとが融合した「新しい都市生活」をめぐるリサーチ・教育・実験・実行の場

プリント版マガジン、ウェブメディア、リアルイベント、さらにはスクール事業などを通し、世の中を変えていくアイデアとイノベーションの最先端をレポートしてきた「WIRED」日本版による新しい組織+空間。よりよい未来の東京を思考し、つくっていくためのプラットフォームとして、ライゾマティクス[※]協力のもと設立する新プロジェクトです。

<名称> WIRED Lab.(ワイヤード・ラボ) <場所> アークヒルズ・ギャラリー
 <開業日> 2016年4月1日(金) 予定 (アーク・カラヤン広場スペイン坂入口)
 <問合せ> TEL 03-5485-9327 (コンテナストジャパン マーケティング部 長村)
<http://lab.wired.jp/> [※]2月下旬公開予定

<活動内容> ビジネスパーソン向けスクール、セミナー、トークショー、ワークショップ、展示等

[※]ライゾマティクス: インタラクティブな広告プロジェクトや先進的なメディアアート作品で注目を集めるクリエイター集団。



WIRED Lab.

【イベント告知】未来のイノベーション拠点 開設記念企画

「Sound and City ~音楽・ビジネス・テクノロジーの可能性~」

都市とのインタラクション・新しいイメージーションをコンセプトに、「都市と音」を体感するイベント、「Sound and City」を下記の日程で開催します。未来のイノベーション拠点が集積するからこそ実現できる企画。「音/音楽」という誰にとっても関わりやすいテーマを通じて、未来を感じることができる新感覚のイベントです。

<日時> 2016年4月28日(木)・29日(金・祝)(予定)
 <場所> アーク・カラヤン広場、WIRED Lab.、TechShop Tokyo 各施設内ほか
 <内容> トークセッション、体験ブース、インスタレーション等の展示、レクチャー、セミナーなど
 <主催> 森ビル株式会社 <協力> WIRED、ライゾマティクス、TechShop Tokyo ほか

3. アークヒルズ開業 30 周年の展開

①施設・店舗リニューアル

2016 年 4 月、アークヒルズのメインゲートであるアーク森ビルのエントランスロビーおよび車寄せのリニューアル工事を実施します。

商業ゾーンにおいても、エントランスロビーに隣接するスターボックスがリニューアルをして生まれ変わるほか、新業態を含む飲食店舗が新たにオープンします。



アーク森ビル エントランスロビー完成予想イメージ

新店舗「Spain Valenciana Bar Bullicio」3月22日オープン

ミシュラン東京2016にてビブグルマンを3店舗同時受賞した「クリスチアノ」「マルデクリスチアノ」「パッポンキッチン」代表の佐藤幸二が手掛ける新業態。スペイン/バレンシア州のバルスタイルをリーズナブルに、クオリティ高く提供いたします。気軽なタパスとコップビールから、お客様が皆でお好きな量を取り分ける「食べたいサイズの大きなパエジャ」、焼き立てのスペインオムレツ「焼き立ての大トルティージャ」など、にぎやかに楽しくお食事ができるスタイルのスペインバル専門店です。



- <店舗名> Spain Valenciana Bar Bullicio(スペイン バレンシアナバル ブリーチヨ)
- <場所> アーク森ビル 2F
- <営業時間> 11:30~14:30 / 17:30~22:30

新店舗「スペイン坂 鳥幸(仮称)」4月上旬オープン予定

甲斐路軍鶏(かいじしゃも)を中心に希少部位を含む約 30 種類を、熟練された職人がお客様の前で焼き上げます。焼き鳥だけでなく、甲斐路軍鶏をふんだんに使用した親子丼は絶品。鶏本来の味わいを最大限に引き出せるようにと考え抜かれたワインが、常時 100 本以上並びます。



- <店舗名> スペイン坂 鳥幸
- <場所> アーク森ビル 1F
- <営業時間> 未定

新店舗「DEAN & DELUCA」5月上旬オープン予定

食するよこびをお伝える食のセレクトショップ「DEAN&DELUCA」が手掛けるカフェ。厳選した豆を使用したコーヒーや、旬のフルーツを使用したジュースなどさまざまなメニューをご用意。サンドウィッチやマフィン、スコーンなどデリも充実しています。

- <店舗名> DEAN & DELUCA(ディーン&デルーカ)
- <場所> アーク森ビル 1F
- <営業時間> 平日 7:00~22:00、土日祝 8:00~21:00



② 新たなコミュニティづくり「アークヒルズ キッズコミュニティ BASE」スタート

アークヒルズでは、周辺のファミリー世帯の居住人口の増加や近年の学外学習に対するニーズの高まりを背景に、ファミリー層をターゲットとした新たなコミュニティづくり、「アークヒルズ キッズコミュニティ BASE」をスタートします。

アークヒルズの豊かな緑の象徴である「アークガーデン」や、オープンスペースの中心「アーク・カラヤン広場」などをフィールドにワークショップなどのプログラムを展開。未来を担う子供たちの思想形成の「基礎・土台(=BASE)」となるような原体験を提供します。

プログラムの企画は NPO 法人 CANVAS*と協働し、自然遊び体験や最先端技術を使った各種ワークショップなど多彩なプログラムを展開する予定です。アークヒルズで開催される季節毎のイベントとも連携しながら、街に根差したコミュニティを育むことで、アークヒルズを「基地(=BASE)」として、子供たちが未来に向かって羽ばたいていくことを目指します。

<名 称> アークヒルズ キッズコミュニティ BASE(ベース)

<活動開始> 2016 年 4 月～

<活動場所> アークガーデン、アーク・カラヤン広場他

<主 催> 森ビル

<事 務 局> NPO 法人 CANVAS

<問 合 せ> 森ビル株式会社 03-6406-6663



※NPO 法人 CANVAS 概要

子供たちの創造・表現力をテーマにしたワークショップ・イベント、セミナーを多数、企画・開催している NPO 法人。これまでに開催したワークショップは約 3,000 回、約 35 万人の子供たちが参加。ジャンルも自然観察からプログラミングまで多岐にわたる。理事長 石戸奈々子氏は東京大学工学部卒業後、MIT メディアラボ客員研究員を経て現職。その他各界の著名人・有力者がフェローとなり活動を支えている。

会員募集！アークヒルズ キッズコミュニティ BASE のプログラム第一弾「GREEN WORKSHOP(仮)」

プログラム第一弾として、2016 年 4 月より「GREEN WORKSHOP(仮)」をスタートします。

当ワークショップはアークヒルズが 1997 年から 17 年間活動を継続し育んできた「ヒルズガーデニングクラブ(2015 年度活動終了)」の意志を引き継ぎ、進化させた自然体験型プログラムです。講師の園芸家 杉井明美氏と NPO 法人 CANVAS とがタッグを組み、子供たちの五感・身体性・自由な感性が発揮される自然とのふれあいの場を創出してまいります。

➤ アークヒルズ キッズコミュニティ BASE 「GREEN WORKSHOP(仮)」 会員募集！

定 員： 各回 20 名×2 枠、計 40 名

開催頻度： 月 1 回、第 4 土曜日開催／所要時間 2 時間

① 10:00～12:00、②13:00～15:00 (予定)

参加費： 9,000 円(税別) / 1 ターム 3 回(3 カ月単位)

場 所： アークガーデンほか

申込方法： www.arkhills.com/ ※3 月上旬より開始予定



講師：園芸家 杉井明美氏



NPO 法人 CANVAS による屋外ワークショップの一例(最先端電子キットを使ってガーデンを楽器にするワークショップ)

③【イベント】2016年度上半期 開催予定イベント情報

2016年度、年間を通してアークヒルズでは様々なイベントを開催いたします。30周年を迎える春から初夏は主にコミュニティやグルメを中心としたイベント、秋は音楽を中心としたイベントを開催予定です。本リリースでは、春から初夏にかけてのイベントをご案内いたします。各イベントの詳細は、確定次第、改めてご案内いたします。

➤ アークヒルズさくらまつり 2016 [写真1]

飲食店舗によるグルメ屋台の出店のほか、ワークショップ等、様々なコンテンツをご用意。

日時：4月1日(金) 11:00～20:00、4月2日(土)、3日(日) 10:00～19:00

➤ 桜のライトアップ 概要 [写真2]

ライトアップ期間：3月下旬～4月上旬頃 17:00～22:00(予定) ※桜の開花状況により変動いたします。

➤ ヒルズマルシェ in ARK Hills [写真3]

日時：毎週土曜日 10:00～14:00 (4月9日(土)には、「フルールマルシェ」開催)

➤ 赤坂 蚤の市 in ARK Hills [写真4]

日時：毎月第4日曜日 11:00～17:00 (4月24日(日)には2周年特別企画を開催)

➤ Sound and City ～音楽・ビジネス・テクノロジーの可能性 [写真5]

日時：4月28日(木)・29日(金・祝)

➤ 木とあそぼう 森をかんがえよう with more trees [写真6]

国産の木々を使ったプレイエリア、ワークショップ、食について考える親子で楽しめるコンテンツをご用意。

日時：5月3日(火・祝)～5月5日(木・祝) 10:00～17:00(予定)



※写真は、過去開催の様子またはイメージです。

アークヒルズ 概要

【所在地】東京都港区赤坂1丁目12番32号、ほか 【竣工】1986年3月 【区域面積】約5.5ha

【施設構成】事務所、住宅、ホテル、店舗、コンサートホール、会員制クラブ・ライブラリー

事務所：アーク森ビル(ワーカー約7000人) 地上37階/地下4階

住宅：アークタワーズ(住戸数481戸)

イースト地上25階/地下2階、ウエスト地上22階/地下2階、サウス地上6階/地下2階

ホテル：ANAインターコンチネンタルホテル東京(全844室) 地上36階/地下3階

コンサートホール：サントリーホール(大ホール2000席・小400席) 地上2階/地下4階

店舗数：約40店舗(物販/飲食/サービス店舗ほか)

会員制クラブ：アークヒルズクラブ アーク森ビル37階

会員制ライブラリー：アークヒルズライブラリー アーク森ビル37階

本リリースに関するお問合せ先

森ビル株式会社 タウンマネジメント事業部

PR担当 山崎、藤富、山村

TEL:03-6406-6382 FAX:03-6406-6483

株式会社クラブジャパン

担当 中野、中島、江川

TEL:03-4580-9101 FAX:03-4580-9151